



男性同士 気軽に話そう

苫小牧市内で男性限定の地域交流サロン「男のあそび場」が毎月1回開かれ、憩いの場となっている。女性に比べて交流機会を持ちにくい男性でも気兼ねなく集える場をつくろうと、明野地域包括支援センターと市社会福祉協議会が運営している。両団体は「気軽に会話を楽しめる場になれば」と話している。

13日、市双葉町2の福祉交流拠点「ちやこちゃんち」。子どもから高齢者までの8人が集まり、マージャンや将棋をしたり、お菓子をつまんだりしながら思い思いに過ごした。初めて参加した小林一男さん(82)は「男性同士で話す機会はなかなかない。ここだと気軽に話せてうれしい。これからは参加したい」と笑顔を見せた。

亀山慶センター長によると、男性は退職後や高齢になってから地域とのつながりを持ちにくく、家に閉じこもりがちにな

高齢者の孤立を防ぐ

るケースも少なくない。日常の中で気軽に話せる相手や、ふらりと立ち寄れる場所を失いやすいという。あそび場はこうした孤立しがちな男性の居場所にとようと、今年6月にスタート。同センターや市社協の職員が日ごろ関わりがある利用者らに声をかけ、昔遊びやボードゲーム、散歩などを通して自由な交流を促している。

開設のきっかけはちやこちゃんちの大家で、市内の贈答品専門店「ダイトー」の店長、三浦寿子さん(55)の思いだった。三浦さんは福祉の場をつくりたいと市内で活動に使える家を探し、昨年から平屋住宅をリフォーム。「何かに活用してもらえないか」と、交流のあった市社協に相談した。共生の場づくりを進める市社協に加え、孤立しがちな男性高齢者が集う場の必要性を感じていた同センターも加わった。

三浦さんは「ここにいる時はみんな笑顔になれたら」と話している。男のあそび場は毎月第2木曜日の午後1時半～3時半で、次回は9月10日に行われる。出入り自由で無料。問い合わせは同センター、電話0144・53・4165か、市社協地域福祉課、電話0144・84・6635へ。

(本田みなみ)

男性限定の地域交流サロン「男のあそび場」で、マージャンを楽しむ参加者たち

苫小牧 交流サロン「あそび場」